

京都府環境審議会自然・鳥獣保護部会の議事概要（令和5年8月7日）

1. 開催日時 令和5年8月7日（月曜日） 午前10時から12時まで

2. 開催形式 オンライン開催

3. 出席者

【部会委員】

細谷部会長、浅野委員、高柳委員、西田委員、西村委員、深町委員、牧委員、松尾委員、森井委員

【特別委員】

児玉代理（見坂特別委員）八元代理、岡島代理（関根特別委員）、氏橋特別委員、藤原代理（安東特別委員）

【事務局】

松山技監、後藤自然環境保全課長、その他自然環境保全課員

4. 議題及び審議結果

(1) 京都府生物多様性地域戦略の中間見直し等について

(審議結果)

- ・委員意見を踏まえた修正を行った上で知事へ答申することについて、部会長と事務局に一任された。

(委員意見等)

- ・グリーンインフラについては、雨庭や雨水貯留施設など個人レベルで出来る取組もあるので、盛り込んでどうか。
- ・サギ類の集団繁殖地は、南丹市や京丹波町にも大きなコロニーがあるので、p19の「最大の…繁殖地」の表現は確認する必要がある。
- ・放棄林という記載があるが、なじみがないので適切な表現を検討すること。
- ・府民の行動変容を促すためには、周知啓発が重要。生物多様性のために何をすれば良いかについてパンフレットで啓発するなど、戦略の実効性を高める必要がある。
- ・シカの対策が非常に重要であり、農林部局と連携して進めることが必要。
- ・文化に関わる部局との連携も重要。
- ・次回改定時は、生物多様性と金融の関わりについて、検討いただきたい。
- ・自然史博物館の整備は、子供の教育においても重要。

(2) 京都府絶滅のおそれのある野生生物の保全に関する条例に基づく指定希少野生生物の指定等について

(審議結果)

- ・委員意見を踏まえた文言の修正を行った上で知事へ答申することについて、部会長と事務局に一任された。

(委員意見等)

- ・選定にあたっては、希少性だけでなく保全施策の実効性も検討されている。